

## 生涯教育セミナーおよびエキスパートセミナー 受講についての御案内

認定制度委員会委員長 大崎 能伸  
(旭川医科大学病院呼吸器センター)  
エキスパート委員会委員長 阿彦 忠之  
(山形県健康福祉部)

日本結核病学会では、結核および非結核性抗酸菌症に対する適切な医療を推進するために、認定医・指導医認定制度と抗酸菌症エキスパート制度を設けました。これらの制度は、知識と経験に優れた医師とエキスパートを養成し、さらに、抗酸菌症診療についての指導と教育を行う指導者を育成することを目的としています。認定医・指導医認定制度と抗酸菌症エキスパート制度が機能することにより、抗酸菌症診療の向上、耐性結核などの防止、医療資源の有効活用、ひいては結核の撲滅が期待されます。日本結核病学会では、認定医・指導医認定制度と抗酸菌症エキスパート制度の設置により、人類の健康と福祉により一層の貢献ができることを願っております。

日本結核病学会では、社会に広く啓発活動を行うこと、抗酸菌症診療に携わる優秀な医師・看護師等の育成を目的として、毎年 1 回の総会時に生涯教育セミナーおよびエキスパートセミナーを開催しています。これらのセミナーを受講すると、結核・抗酸菌症認定医・指導医、および抗酸菌症エキスパートの認定申請と更新申請に必要な単位が取得できます。総会時の生涯教育セミナーの受講は結核・抗酸菌症認定医・指導医および抗酸菌症エキスパート、エキスパートセミナーの受講は抗酸菌症エキスパートの認定と更新に必須となっていますのでご注意ください。

単位の取得を希望される方は、総会の当日に各セミナー会場受付で参加証をお受け取りください。

### <受講申込方法>

- セミナー受講希望者は総会当日セミナー会場受付で参加証をお受け取り下さい。
- 受講料：受講料は無料ですが、総会の参加費をご負担いただきます。
- セミナー参加証は各自で保管して下さい。参加証がないと認定医等の申請のための点数が獲得できません。

### ●研修単位

#### 1. 生涯教育セミナー受講

結核・抗酸菌症認定医・指導医および抗酸菌症エキスパート：認定，更新 30 点  
(会期中の各生涯教育セミナーを複数回受講しても単位は加算されません)

#### 2. エキスパートセミナー受講

抗酸菌症エキスパート：認定，更新 10 点  
(会期中の各エキスパートセミナーの単位は 10 点 × 3 セミナーまで加算できます)

### <受講時の注意>

- 30 分以上の遅刻，30 分以上前の早退については，原則として出席にはなりません。
- 止むを得ない場合については委員会にて判定いたしますので，セミナー会場前受付にて理由をお伝えください。
- 生涯教育セミナーと ICD 講習会の時間は重複しませんので，総会時に両方の受講が可能です。

●生涯教育セミナー（予定）

プログラムの日程は変更になる可能性があります。

シンポジウム1 2019年6月7日（金）8時30分～10時30分

「免疫不全に合併したNTM症」 座長（福岡大学医学部呼吸器内科学）藤田 昌樹  
座長（新潟大学大学院医歯学総合研究科呼吸器・感染症内科学分野）菊地 利明

①抗インターフェロン $\gamma$ 自己抗体がもたらす非結核性抗酸菌症 –看過される免疫不全–

演者（熊本大学大学院生命科学研究部呼吸器内科学分野）坂上 拓郎

②抗TNF製剤とNTM

演者（大阪府結核予防会大阪病院）松本 智成

③肺がんと肺非結核性抗酸菌症について

演者（NHO近畿中央呼吸器センター内科）小林 岳彦

④肺移植とNTM

演者（福岡大学病院呼吸器内科）松本 武格

⑤MonoMAC症候群

演者（東北大学病院血液免疫科）福原 規子

シンポジウム2 2019年6月7日（金）15時30分～17時30分

「結核・非結核性抗酸菌症に対する antimicrobial stewardship team の活動」

座長（慶應義塾大学医学部感染制御センター）長谷川直樹

座長（名古屋大学医学部臨床感染症学講座）八木 哲也

①結核におけるAST活動 医師の立場から

演者（横浜市立大学大学院医学研究科呼吸器病学）小林 信明

②結核におけるAST活動 臨床検査技師の立場から

演者（札幌医科大学附属病院検査部）品川 雅明

③結核におけるAST活動 薬剤師の立場から

演者（独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター）平野 淳

④結核におけるAST活動 看護師の立場から

演者（群馬大学医学部附属病院）大嶋 圭子

⑤非結核性抗酸菌症治療におけるAST活動の意義と課題

演者（長野県立信州医療センター感染症センター）山崎 善隆

シンポジウム 8 2019年6月8日(土) 10時20分～12時20分

「結核低蔓延に向けた医療体制の課題と展望」

座長(山形県健康福祉部) 阿彦 忠之

座長(国立病院機構南京都病院) 徳永 修

①結核低蔓延に向けた医療体制の現状と今後のあり方

演者(結核予防会結核研究所) 加藤 誠也

②結核モデル病床等の活用による入院医療機関の確保

演者(千葉県習志野健康福祉センター(習志野保健所)/千葉県健康福祉部) 久保 秀一

③低蔓延に向けた結核医療の地域連携

演者(独立行政法人国立病院機構和歌山病院) 駿田 直俊

④結核低蔓延に向けた高度専門医療施設の役割

演者(国立病院機構近畿中央呼吸器センター) 露口 一成

⑤低まん延に向けた小児結核の医療・対策 – その課題と必要な取り組みを考える –

演者(国立病院機構南京都病院) 徳永 修

シンポジウム 10 2019年6月8日(土) 10時20分～12時20分

「結核接触者検診でのIGRAと低線量CTスクリーニングの位置づけ」

座長(日本赤十字社仙台赤十字病院呼吸器内科) 三木 誠

座長(公益財団法人岩手県予防医学協会) 武内 健一

①IGRAと低線量胸部CTの併用によるLTBIと初期肺結核の診断

演者(日本赤十字社長崎原爆諫早病院) 福島喜代康

②当院における結核診療の現状と結核菌曝露リスクの把握

演者(東北医科薬科大学医学部感染症内科・感染制御部) 関 雅文

③低線量胸部CT検診におけるリスクとベネフィットの評価

演者(谷津保健病院呼吸器内科) 潤間 隆宏

④IGRAと低線量CTスクリーニングの費用効果分析

演者(大田区役所) 小和田暁子

⑤結核接触者検診における低線量CT検査の役割と課題

演者(株式会社日立製作所日立健康管理センタ) 中川 徹